



デザインボランティアの力を最大限ひき出すコツ

まとめ資料その4: 依頼のコツ

オリエンテーションをデザインする

- 団体オリエンの役割;
 - ・活動目的や活動内容を理解してもらう
 - ・ボランティアに求める資質や義務を理解してもらう
 - ・ボランティアのニーズを把握する
- 団体オリエンの目的;
 - ・お互いのギャップ(思い違い)を解消し、参加への合意形成につなげる
- 制作オリエンの目的;
 - ・制作進行の効率化
 - ・デザイン内容のギャップをなくすこと

制作オリエンで一番重要なポイントは、口頭説明だけにしないこと。
オリエンシート(依頼内容の説明書)を補助ツールとして使い、口頭で説明していくように。

オリエンシートをつくる

オリエンシートの基本型は、

- (1) Why / なぜ?
- (2) Who / 誰に?
- (3) When / いつ使う?
- (4) What / 何を?
- (5) Where / どこまで?
- (6) Howmuch / いくらで?
- (7) When / いつまでに?
- (8) Who / 誰が?

最低限、書いていただきたいのはこの8つ。いずれも箇条書きでOKです。

さらに上を目指す人は、

同分野他団体の現状分析/参考デザイン事例の提示/イメージラフ
も制作オリエンで提示してみても?

デザインボランティアの意欲を削ぐNGワードと、やる気を上げるコツ

避けた方が無難なNGワード(最初の仕事では特に)は、
「適当で」「おまかせで」「つまらない仕事かもしれませんが」の3つ。

デザインボランティアのやる気を上げるには、「ラダー効果」を意識して、
今からつくる制作物の、「重要性」と「社会に与える好影響」を伝えるのがコツ。

プロの最前線から、デザインの頼み方/頼まれ方を学んでみる

プロの現場になればこそ、お互い意見を出し合う、疑問点をゼロにするために遠慮せず伝え合う、
共通認識を持つために相互に意思疎通をとことんおこなう・・・
といったコミュニケーションが重要になってきます。

コミュニケーションを疎かにせず、高い目標のためにお互いが全力を出し切ったからこそ、
「いいデザイン」が生まれます。